

現状
0.36

階	方向	配置 低減係数	劣化 低減係数	保有耐力 (kN)	必要耐力 (kN)	上部構造 評点	
2	X	1.00	0.70	45.72	41.26	1.10	
	Y	1.00		50.00		1.21	
1	X	0.75		34.72	94.80	x	0.36
	Y	1.00		57.46		x	0.60

上部構造評点	判定内容
1.5以上	倒壊しない
1.0以上1.5未満	一応倒壊しない
0.7以上1.0未満	倒壊する可能性がある
0.7未満	倒壊する可能性が高い x

保有耐力 = 上部構造評点 × 必要耐力

現状

必要耐力 (Qr) 計算方法

略算法 (精算法)

階	床面積(m ²)	必要耐力係数	多雪区域加算	地震係数Z	軟弱地盤割増	形状割増	混構造割増	必要耐力Qr(kN)
2	77.84	0.53	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	41.26
1	89.43	1.06	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	94.80

必要耐力係数: 軽い建物, 重い建物, 非常に重い建物

多雪地域: 一般(0.00), 多雪地域(0.26~0.52)

地震係数Z: その他(0.7~0.9), 一般地域(1.0)

軟弱地盤割増: 通常(1.00), 割増(1.50)

形状割増: 通常(1.00), 形状割増(1.13)

混構造割増: 木造(1.00), RCまたは鉄骨(1.20)

保有耐力 (Pd) 計算方法

4分割法 (偏心率)

階	方向	無開口壁耐力(kN)	他の耐震要素の耐力(kN)	耐力要素の配置・床仕様による低減係数	劣化度による低減係数	保有耐力Pd(kN)
2	X	55.01	10.31	1.00	0.70	45.72
	Y	61.13	10.31	1.00		50.00
1	X	42.45	23.70	0.75		34.72
	Y	58.39	23.70	1.00		57.46

必要耐力 × 0.25

耐力要素の配置・床仕様による低減係数: 1.00, 0.75~0.99, 0.50~0.74, ~0.49

劣化度による低減係数: 1.00 劣化なし, 0.9~1.0, 0.8~0.9, 0.7~0.8

柱頭柱脚接合部仕様

基礎仕様

床仕様

配置低減係数

劣化度による低減係数



補強 改修をすると評点があがります。

評点分析

